

科目名 単位・時間	成人看護学 (5単位 180時間)		対象者	24期生・25期生
担当講師名	第二看護学科 専任教員(臨床経験有) 非常勤講師 千葉県救急医療センター 看護師 非常勤講師 柏市立柏病院 糖尿病看護認定看護師 非常勤講師 柏市立柏病院 看護師 非常勤講師 キッコーマン総合病院 看護師 非常勤講師 柏厚生総合病院 看護師		年次・時期	1年次～2年次
概要	<p>人間のライフサイクルにおいて成人期は、心身の機能の発達と維持、加齢に伴う変化に適応しながら、社会的責任を大きく担う時期です。現代の成人期にある人々の生活様式は多様化し、生活環境全般がストレスに満ちており、生活や健康にさまざまな影響を及ぼしています。成人看護学は成人の健康と生活を包括的に理解し、成人の健康生活を多角的に捉える視点や、多様な健康障害や健康上の課題に対応するための援助方法を学ぶ科目です。</p> <p>成人看護学概論では、成人期を青年期・壮年期・向老期に分け、各期の特徴を捉えた上で、現代を生きる成人の生活や生き方について理解します。また、成人期に特徴的な健康問題の理解、健康の維持・増進のための看護援助、各経過の看護、がん看護を柱とし、より実践的な視点で看護を学びます。</p> <p>成人看護学援助論Ⅰ・Ⅱでは、機能障害のある対象の看護の柱を設け、1年次で学んだ内容と関連付けながら、周手術期の援助・回復を促進する援助・セルフコントロールへの援助・生活支援について学びます。</p> <p>成人看護学実習では、成人各期の特徴をふまえ対象理解を深めるとともに、多様な健康障害や健康レベルに応じた看護を実践する力を養います。社会的責任や生活環境、個性性を考慮しながら、周手術期の援助・回復を促す援助・セルフコントロールへの援助・生活支援の実際を学習します。また、周手術期にある患者の看護の実際を見学あるいは実施することで、術前・術中・術後看護のあり方を学習します。</p>			
科目構成	科目名	成人看護学概論	成人看護学援助論Ⅰ	成人看護学援助論Ⅱ
	単位時間	1単位 (30時間)	1単位 (30時間)	1単位 (30時間)
	学習範囲	1.成人期の対象の理解 2.経過に応じた看護 3.がん看護	1.性・生殖機能障害のある患者の看護 2.栄養・代謝機能障害のある患者の看護 3.排泄機能障害のある患者の看護 4.消化・吸収機能障害のある患者の看護 5.運動機能障害のある患者の看護 6.循環機能障害のある患者の看護 7.脳・神経機能障害のある患者の看護 8.内分泌・免疫機能障害のある患者の看護	1.重症救急患者の看護 2.手術療法を受ける患者の看護
	概要	<p>成人看護学実習では、周手術期にある患者とその家族を対象とした看護を学びます。</p> <p>患者にとって手術という状況は、予期せぬ出来事であり危機的状況となりえます。また、患者は手術に対して期待と不安あるいは迷いを持ち、心理的变化を経て手術を決断しています。患者が抱く手術や治療に対する思いに関心を持ち、寄り添うことの意味を考えながら周手術期看護を学びましょう。患者にとって手術は生体に対する意図的な損傷であり、麻酔は生命維持に大きな影響を与えます。そのため手術前は患者の心身の準備を行い、手術が安全に行われ、合併症を予防するための一連の援助が重要となります。手術による侵襲が回復過程にどのように影響するのか、身体に表れた症状や目に見える現象が、正常なのか異常であるかを判断するためには、経験や知識をもとにした観察が必要となります。日々の変化を捉えながら手術後の回復が順調に進むための看護について学びましょう。</p> <p>成人期は人生の中で40年以上を占める長い時期です。身体は機能の発達から成熟、そして徐々に身体の機能低下を感じながら衰退を迎える変化を受け入れていく時期でもあります。自立や自己の職業選択、家族との生活や地域あるいは社会などで、自己の役割を果たし生活を営んでいます。入院や手術によって変化した役割を理解し、もとの生活に戻るためのよりよい看護を考えていきましょう。</p> <p>成人看護学実習では、当校専任教員が指導にあるとともに、柏市立柏病院・柏厚生総合病院の臨床指導者及びスタッフが指導にあたります。</p>		

